

「公共交通とまちづくりを考える会 in 四国キックオフセミナー」が開催されます。
(平成29年12月2日)

「(仮称) 公共交通とまちづくりを考える会 in 四国」の設立及びキックオフセミナーの開催について、発起人代表である香川高等専門学校 宮崎准教授より案内がありました。公共交通の関係者が立場を超えて意見交換できる貴重な機会ですので、ふるってご参加下さい。(申し込みについては、2ページ目をご覧ください。)

◆香川高等専門学校宮崎准教授からのご案内です。◆

このたび、「(仮称) 公共交通とまちづくりを考える会in四国」という会を立ち上げます。この会は、公共交通やまちづくりなどに関わる人を対象として、様々な知識を得る機会とともに、お互いの「知識」や「知恵」を共有すべく、立場を超えて「縦串と横串」をつないでいく関係者相互のネットワークづくりとなることを目指しています。会の立ち上げに際し、キックオフセミナーを12/2(土)に高松で開催いたします。年末の非常にお忙しい時期となっており大変恐縮いたしますが、もしもよろしければご参加いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年10月

(仮称) 公共交通とまちづくりを考える会in 四国

発起人代表宮崎耕輔(香川高等専門学校)

<名称>

(仮称) 公共交通とまちづくりを考える会 in 四国

<開催日時>

平成29年12月2日(土) 13:00 ~ 17:00 キックオフセミナー
17:30 ~ 懇親会(希望者のみ)

<会場>

四国旅客鉄道株式会社 本社8階 会議室

〒760-8580 香川県高松市浜ノ町8番33号(JR高松駅から徒歩5分程度)

なお、会場に駐車場はありません。

<プログラム(予定)>

13:00～13:15

開会

あいさつならびに趣旨説明 香川高等専門学校 准教授 宮崎耕輔

13:15～14:15

第一部 基調講演 (仮) Q サポの取組みから見えてきたこと

大分大学 准教授 大井 尚司

14:15～15:15

第二部 話題提供 (30分×2人=60分)

(1) 徳島県つるぎ町の取組みから つるぎ町まちづくり戦略課 課長 武田 康弘

(2) (仮) IT 技術と公共交通のコラボの方向性 東京大学 助教 伊藤 昌毅

15:15～15:30 (休憩)

15:30～17:00

第三部 グループディスカッション

グループに分かれて、意見交換をする。

(1) 自己紹介

(2) 「今日的话题を聴いて最も印象に残ったこと、その理由」を発表

(3) 自由に意見交換

各グループでどのような意見があったかを発表

あいさつ 香川高等専門学校 准教授 宮崎耕輔

閉会

<参加申込み>

電子メールでの申込みをお願いします。

申込先メールアドレス : miyazaki@t.kagawa-nct.ac.jp

(申込期限: 11月24日(金) 17:00)

※申込の際は、件名を「キックオフセミナー申込み」としたうえ、以下についてメール本文中にて、お知らせ下さい。

(1) お名前

(2) お名前のふりがな

(3) ご所属

(4) 役職

(5) 連絡先電話番号

(6) 連絡先電子メールアドレス

(7) 懇親会に参加を希望するか否か(参加/不参加)

<その他>

参加に際しては、堅苦しくない雰囲気だと思いますので、できれば、カジュアルな服装でお越しただいただければと思います。

<問合せ先>

(仮称) 公共交通とまちづくりを考える会 in 四国

发起人代表 宮崎 耕輔(香川高等専門学校)

電子メール : miyazaki@t.kagawa-nct.ac.jp (发起人代表 メールアドレス)

会場 (四国旅客鉄道株式会社 本社) のご案内



JR 高松駅から徒歩 5 分程度

なお、会場に駐車場はありません。

(仮称) 公共交通とまちづくりを考える会 in 四国
Network for Public Transport and “Machi-zukuri” in Shikoku
(仮称) PTM ネットワーク)

設立趣旨

平成 14 年の道路運送法の改正を機に、地域公共交通に対する考え方が大きく変わりました。それは、これまでの運輸行政主導による考え方から、地域が主体となって取り組むという考え方です。この考え方を推進するために、わが国の法制度が見直され、地域公共交通に関係する各種主体によって組織化された協議会や交通会議などが中心となって進めることになりました。地域公共交通に関係する各種主体とは、たとえば、公共交通の運送事業者、関係する地方自治体、住民団体や商業・医療・介護等の地域関係者、運転者団体、道路管理者、公安委員会・警察、都道府県の交通政策担当者、運輸局などです。



このような協議会組織の意図は、地域公共交通に関係する各種主体が主体的に関わり、まちづくりと連動させて検討することです。しかしながら、このような関係主体が一堂に会する場が提供されても、これを効果的に活用するには、専門知識や経験、情報収集、そして地域関係者間の調整が必要です。



地方自治体や地域関係者は良き相談相手を探すのに苦労しているところもみられます。また、コンサルタントや研究者が地域公共交通に関わるが増えてきましたが、総合的にコーディネートできる人材は不足しています。一方の交通事業者は、運営や運行に関して豊富な知識と経験を持っていますが、今後の事業継続のためには、地域関係者や異業種との連携による新しいビジネスモデルによって顧客を創造し、地域の課題解決を図ることが必要な時代になっています。



以上の背景から、本会は、行政スタッフ、交通事業者、コンサルタント、研究者、住民団体、商業・医療・介護等の地域関係者などの地域公共交通に関わる人はもちろん、まちづくりに関わる人なども対象として、様々な知識を得る機会とともに、お互いの「知識」や「知恵」を共有すべく、立場を超えて「縦串と横串」をつないでいく関係者相互のネットワークづくりとなるべく機会を提供するものです。

平成 29 年 10 月
(仮称) 公共交通とまちづくりを考える会 in 四国
発起人代表 宮崎 耕輔(香川高等専門学校)